

を活用するとともに、いちゆい具志川じんぶん館、石川地域活性化センター舞天館を十分に活用し、起業家支援、産業の振興、雇用機会の創出および人材育成を図り、雇用の拡大を推進してまいります。

IT事業支援センターにつきましては、これまでに200名程度の新規雇用者の確保を目標に施設の整備に取り組んでまいりました。平成18年1月からは一部供用を開始しており、コールセンターとして大手企業の進出もあります。引き続き、施設の整備事業を推進し、雇用の拡大に努めてまいります。

また、平成18年度から取り組んでおります「地域提案型雇用促進事業（パッケージ事業）」におきましては、平成20年度までの3年間で約1,300名の雇用創出を目標に事業を実施してまいります。

本庁舎に開設している沖縄労働局の「地域職業相談室」につきましては、今後とも求職者のための求職・職業相談を実施してまいります。

また、高齢者の雇用につきましては、社団法人うるま市シルバー人材センターと連携して、会員の募集を促進し、福祉の増進に努めてまいります。



昨年行われた第1回うるま祭り

商工業につきましては、平成19年度合併予定の市商工会や各通り会等と連携を図り、国・県の諸融資制度の活用を推進と商工業の振興に努めてまいります。

工場適地ならびに中城湾港新港地区に關しましては、引き続き企業立地促進条例や地域総合整備資金貸付制度の活用を図りながら、国・県との連携に努め企業誘致に取り組んでまいります。

沖縄科学技術大学院大学に關する事業につきましては、平成19年度に県が策定を予定しております「沖縄科学技術大学院大学周辺整備基本計画」を踏まえながら、同大学院大学の開学に向け、中心的エリアとしての整備を促進してまいります。

観光振興につきましては、平成18年度に策定される「うるま市観光振興ビジョン」に基づき施策を展開してまいります。

祭りにつきましては、引き続き「うるま祭り」と「うるま市エイサーまつり」を実施してまいります。

また、闘牛の貴重な伝統文化を有する全国の市町村が一堂に会し、全国闘牛サミットを開催してまいります。

物産の振興につきましては、第3